

## 【1】初期化動作

何か異常となり、復元出来なくなった場合、この初期化動作をやってみると復元する場合があります。但し、初期化すると本セットの場合、次のパラメーターが初期化されます、特にPhase/Balance値は、全て4096と128に初期化されますので、調整値を後で書き込んで下さい。



この2個のキーを押しながら電源をいれる。エンコーダーを廻し選択し決定する場合は'SP'キーを押します、次々と選択し'SP'キーを押していくと最後に終了します。

初期化されるのはPhase/Balance値とLPFの種類

Phase/Balanceの調整値は事前にメモしておくこと。

### Phase / Balance 調整値

		Phase	Balance
3.5M	LSB	4134	132
	USB	4126	126
7M	LSB	4196	134
	USB	4196	126
14M	LSB	4316	133
	USB	4311	128

## 【2】ノーマルモード（通常モード）



周波数表示値の下にアンダーバー（    ）表示となっている場合が、ノーマルモードです、この時エンコーダーを廻すと、この例の場合は1kHz単位がUP/Downします、UP/Downさせる桁を変える場合は'←'、'→'キーで移動させます。何かを操作する場合はノーマルモードに戻してから行うこと。受信状態でのメーター表示は、キャリアレベル表示となっています。通常、70前後に針は位置しています、もし、これがフルスケール等に針が振れれば、キャリアヌルが異常であることを示します。

### 【3】 LPFモード



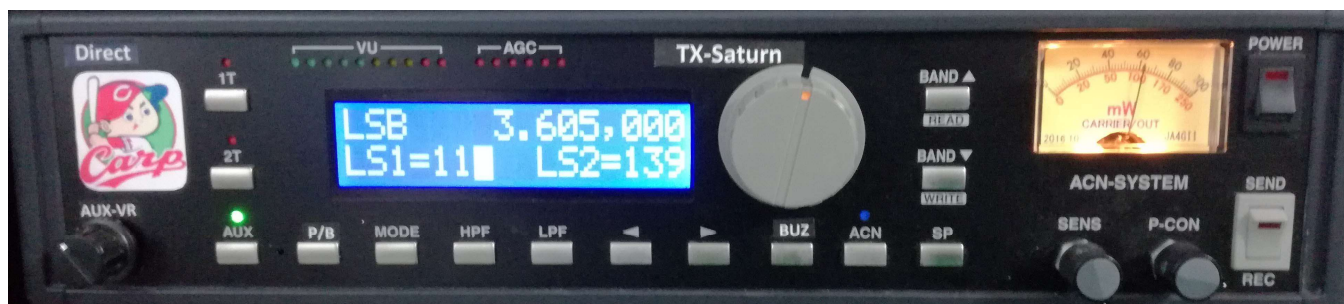
’ LPF’ キーをおすとLPFモードとなります、2行目の右端でカーソル点滅している状態が、LPFモードです。この時エンコーダーを廻すとカットオフ値が変更出来ます。又、LPFの種類はスイッチドキャパシタ（SCF）フィルターとアクティブフィルターの2種類に対応しており、LPS=SCFフィルターで、LPA=アクティブフィルターであることを示します。この種類を変更するにはLPFモードで’ SP’ キーを押すと交互に切替わります。ノーマルモードに戻すには、再度’ LPF’ キーを押す。

アクティブフィルター



### 【4】 SPモード

ノーマルモードで’SP’キーを押すとキャリア調整値を表示します。ACN=OFFにし意図的にキャリアヌル調整も出来ます、LS1/LS2を選択するには’←’→’キーで行います。ノーマルに戻すには再度’SP’キーを押します。





## 【5】Phase/Balanceモード

'PH/PB'キーを押すとPhaseモードとなります。エンコーダーを廻し、逆サイド信号が最小となるように調整します。動きが鈍い時は更に本キーを押してBalanceモードから先に行くと調整し易い場合があります。



更に'PH/PB'キーを押すとBalanceモードとなります、エンコーダーを廻し、逆サイド信号が最小となるように調整します。PhaseとBalanceを交互に調整し最小にします。最後にノーマルモードに戻すことにより調整値が書き込みされます、本調整をLSB/USBモードにわたり全バンドにたいして行い、調整値をメモに残しておいた方がよい（初期化時に）、データーの書き込みは、各バンド/モードにて値をセットしノーマルモードに戻せばよい。



## 【6】BZ (Pie) モード

キーの名称は最終的に定かではないのですが、スタンバイピーモードです。このキーを押すとPie=025と表示され、送信から受信に移行した時に25ms期間-1KHz信号を出力します。期間値を変更する場合はエンコーダーを廻して設定します。この機能をOFFにする場合は、このモードにおいて'SP'キーを押します、押す毎にOFF→ONをくり返します、ノーマル



## 【7】 HPFモード



HPF' キーを押すとカーソルが、数値位置で点滅します、この時エンコーダーを廻せばカットオフの切り替えが出来ます。  
ノーマルモードに戻すには、再度' HPF' キーを押します。

## 【8】 その他

その他は、触れば判ります。受信状態の時はメーターはキャリアメーターであり、' SENS-VR' =最大で70~80位に位置します。  
送信時は、出力パワー計で、' PCON-VR' 最大で250mw出力となります。

## 【9】 Version-1.5でテスト機能追加

I/Q信号の位相同期ズレが何回目で発症するかを確認するためのテスト機能です。' LPS' + ' CAN' で電源ONさせるとテストモードです。  
1行目の左端に' TEST' 表示されます。 数字のカウンターが1 2 3 ...と正常であればカウントアップしていきます、同期ズレが発生すると、そこで停止します。何回目で異常が発生したかの確認が出来ます。  
終了するには、電源=OFFし通常電源=ONすればよい。 Version-1.5では立ち上げ時に自動チェックし正常位相であることを確認した上でスタートするようにしましたから心配不要です。



2つを押しながら